

保健体育科

保健体育科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【知識・技能】

備えた知識をもとに、技能を向上させるポイントを見つけることができる。

生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）	
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を学び、行えるようになってきている。 ・水泳が苦手な生徒が多い。 ・意欲的に運動に取り組むことができるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の合理性を理解させ、継続して指導にあたる。 ・補習教室による少人数指導 ・ゴール型球技におけるタスクゲームを活用した指導の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 ・7、8月 ・9、10月 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を行えるようになった。 ・少人数指導での効果はあったが、まだ泳力が低い生徒が多い。 ・タスクゲームの活用から授業における意欲の向上が見られた。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動に親しむ生徒が多く、集団として様々な種目に前向きに行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの知識を備え、技能向上のためにいかにして知識を活用していくのかという点を強調して指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能の面では向上が見られる。継続して知識の定着・活用という点を意識して指導していく。 ・単元テストの活用方法を見直していく。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動に親しむ生徒が多く、集団として様々な種目に前向きに行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの知識を備え、技能向上のためにいかにして知識を活用していくのかという点を強調して指導していく。 ・他者との関わりを大切にさせ、お互いが成長できるような対話的な授業を技能向上に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 ・通年 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着に関してはさらに向上していく必要があると感じている。 ・他者と協同的に運動に親しむことができた。

■主体的・対話的で深い学びに関連して

1年 意欲的に運動に取り組みさせる工夫

2年 知識の蓄え、知識の活用

3年 他者との関わりから知識・技能をともに向上させる工夫

■小中一貫教育共通プログラムに関連して

1年 授業規律・集団行動の重要性

2年 授業規律・集団行動の重要性

3年 授業規律・集団行動の重要性